



あたたかさに包まれる…っていいですね

晩秋からいよいよ冬へ季節も移っていきます。朝、布団から出るのも…、寒い通学路を歩いていくことも…だんだん億劫になるのは大人も子どもも同じですね。先日、一年生のやきいも会がありました。朝から、たきび準備です。風が寒くなってくると このたきび（おき）のそばのあったかくて気持ちのよいこと、うれしいこと。（しばらくすると…おいもの「たべごろですよお！」の香りつきです）



あたたかさに包まれるっていいですね。うれしいですね。

学校という場所にいとそんな「あったかくていいなあ〜」と感じる場面によく出会います。

○市内音楽祭で一生懸命…うれしそうに…指揮者と目をつなげて歌っている子どもの歌声を聞いていて感激！聞いているこちらまであたたかい気分になるステージでした。



○授業中、お友だちの発言に「あっそうか！とってもわかりやすいよ」とつぶやきを聞いてうんうんとうなずいている子どもたち、ほめられた子も、ほめた子も、頷いた子も…みな笑顔です。見ているこちらまであたたかい気持ちになります。



○朝の登校中、子どもが近づくとまわりの車を見わたして、そばに来た子どもにニコッとしながら「おっ今日はいつもより早いな！」「うん！今日は〇〇じゃけえ」という見守り隊の方と子どものやりとり、ありがたいですね。



○高学年の男の子が3日間欠席した友達を「大丈夫？」とお見舞いに行ったそうです。お家の人からもらったりんごを一個持って…。何かうれしいお話ですね。

このような場面に出くわすと本当にあたたかい気持ちになります。

あたたかい気持ちになると何かいいことがしたくなります。いつもより笑顔もアップします。だからあたたかさはつながるのだろうな、拡がるのだろうなと思います。

先日私が子どもの頃に過ごした小学校へいきました。子どもの頃見上げていた巨木のくすのきをみて、そんなに大きくないなあとも思いつつ、この木の下で祖母と撮った写真を思い出しながら、懐かしさと共に祖母に本当に慈しまれていた当時のあたたかさも蘇ってきました。

その場所にいと…そのころ感じていたあたたかい気持ちになります。

あたたかさは 感じた人間が生きている限りずっとそこにあるんですね。

人のあたたかさを感じることができた子は、あたたかさを拡げてくれます。別の誰かにつないでくれます。大きなエネルギーを保って、ずっと残り続けます。

子どもたちにあたたかさを感じさせる大人でありたいです。

今、あったか〜い焼きいものおすそ分けをもらいました。今からいただきます。

寒さが厳しさをましてきます。皆様、冬の体調管理にお努めくださいませ。

校長 藤 永 靖 彦

